



六中だより

～学校教育目標～

“ 学力と情操 ”

“ 健康と忍耐力 ”

“ 勤労と責任 ”

学習指導要領完全実施

校長 黒沼正彦

4月から学習指導要領が完全実施となります。具体的には使う教科書が変わります。生徒一人1台ずつタブレットが使えるようになります。そして、すべての教科について3観点での評価が変わります。

今回の学習指導要領の改訂にあたり、それが発表された平成29年以前に、政府の諮問機関などで、学校は子供たちにどんな力をつけないといけないのか議論されました。社会に出てどんな能力をもとにどう力を発揮すべきか、そのために大学や高等学校はどのような教育をすべきか、そして中学校や小学校ではどんな授業をおこない、どんな力をつけ、そのためにどんな評価をすべきなのか、そして、学校だけでなく、家庭や地域とのかかわりについても議論されました。背景として今後さらに激化するだろう予想不可能な社会の変化、環境破壊などによる地球温暖化など、切実で深刻な決して明るいとはいえない未来予測があります。現に今、コロナ禍という2年前には予測すらしなかった事態の中で、私たちは大きな問題の解決を強いられています。

その議論の中で、これからの時代は、なんとなく教育してなんとなく社会でうまくいって何とかなるだろうというものではないという考えで、究極的には地球上の人類や他の様々な生命が滅亡したりしないように、様々な問題を解決できる能力やそれに向けての強い意思を持った人材を育成するという視点で学校教育を行っていく必要があるという結論に達しました。このような教育理念は、持続可能な社会づくりの担い手(人材)を育成するための教育＝ESD (Education for Sustainable Development) として2002年以降教育界に広がりつつあり、学校現場でもそれを意識した教育が行われてきましたが、今回の学習指導要領の改訂において大きく注目されることとなりました。

ESDの授業の成功イメージを書くと次のようになります。

- ①生徒は主役。そこに参加しているだけでなく、一人一人が学んでいることを自分事としてとらえ、考え、自らの意思で問題解決に向けて動く行動者となる。
- ②問題や現象の背景の理解、多面的・総合的なものの見方により、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できるようになる。
- ③学んだことを常に自分の身の回りの事やこれからの事に結び付けてそれぞれの場面で活用しようとする意志を持つ。

そして、その授業の成功のために必要な教師のアプローチとして次のようなものが考えられます。

- ①学びに火をつける課題提示や資料提示による理解の深化。
- ②探究や実践を重視した対話型体験型授業構成。
- ③授業の終末での課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すために関連性を考える振り返りと活用(リフレクション)の時間の確保。

ESDはSDGsと混同されやすく、環境教育の一つのように思われている場合がありますが、実は、新しい時代に向けた授業改善の視点そのものです。ESDの視点で取り組むことで、学習指導要領の理念に十分そった教育活動になるのだと私は思います。六中では、今年度の校内研修会で、新しい3観点の評価と合わせESDの視点の授業改善について学びを進めました。コロナ禍ではありますが、今後も一歩ずつ、上の

ような成功イメージでの授業を目指して取り組んでいきます。

最後に、地域・保護者の皆様におかれましては、今年度も六中の教育に常に温かいまなざしとご支援をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。



～部活動再開～

1月6日（水）より緊急事態宣言により部活動を中止していました。しかし、体力向上等を考慮、府中市教育委員会の通知を受け、2月8日（月）より平日のみ部活動再開となりました。コロナ禍のもと、色々な活動の制限されているこの頃でしたが、部活動再開の日の放課後、校庭・体育館棟には生徒が部活動に生き生きと参加している姿がありました。



校庭



テニスコート



武道場



アリーナ

3月の主な予定

2日（火）中央委員会 都立一般入試発表	13日（土）土曜授業日（非公開）
3日（水）職員連絡会	15日（月）3年スポーツ大会
4日（木）専門委員会	17日（水）3年給食終
5日（金）1・2年保護者会	22日（月）卒業式準備
8日（月）3年・薬物乱用防止教室 避難訓練	23日（火）第54回 卒業式 *1・2年は休業日
10日（水）生徒会朝礼（放送）	25日（木）大掃除 1・2年給食終
11日（木）安全指導日 2年校外学習 3年ペットボトルロケット大会	26日（金）修了式
12日（金）1年校外学習	27日（土）春季休業始

